

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;">新編 新しい国語</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」では、伝え合う力を高めるために、相互交流場面を計画的に位置付けている。</p> <p>○「日本の言の葉」というコーナーが、どの学年にも位置付けてあり、伝統的な言語を学べるようにしている。</p>	
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○単元末に「言葉の力」の欄を設け、学習の重点を確実に習得できるように工夫している。また、「言葉」「漢字」の欄を配置し、漢字の確実な習得が図れるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○学習したことが活用できるように「つながる」「ひろがる」というコーナーを設置し、既習事項を活用して思考力や表現力の育成を図るよう工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○冒頭に「言葉の学習を進めよう」を設け、児童自らが課題意識をもって、主体的に学習に取り組めるように構成している。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○入門期の絵が児童にとって身近で、会話が想像できるような工夫がある。</p> <p>○「本は友達」の単元では、有名人の文章が載せられていて、児童が読書活動に興味・関心を示すように工夫している。</p> <p><国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫></p> <p>○「言葉の力」では、他教科や実生活でも生かせるように工夫している。</p> <p>○「日本の言の葉」を設け、伝統的な言語文化に親しめるように工夫している。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○児童の学習意欲の喚起や内容に理解に役立つ挿絵、写真、図などがあり、分かりやすくするように掲載している。</p> <p>○巻末に「読書の部屋」を設け、子供たちに読ませたい物語を載せている。</p> <p>○1～4年生は、上下巻の二分冊で、5～6年生は1冊で構成している。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○1～2年は、文節単位で区切って表記されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために、「つながる」というコーナーを設け、既習内容を振り返ることができるようにしている。</p> <p>○「漢字の学習」のページでは、前学年の配当漢字が書けるように工夫している。</p> <p>○1ページの行数を減らし、行間が広く読みやすく工夫している。</p>	

項目	書名 みんなと学ぶ 小学校国語	11 学 図
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○「話すこと・聞くこと」の内容では、4つの系列の分けて、「伝え合う力」の育成を図るように構成している。</p> <p>○昔話や短歌・俳句などの古典教材を取り入れ、伝統的な言語文化を学ばせるように工夫している。</p>	
特	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○「言葉のきまり」や「漢字の部屋」というコーナーを設置したり、学習のポイントなる「国語のカギ」を載せて、基礎的・基本的な学習内容を定着させるように工夫している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「読むこと」の領域では、学習のてびきの中に「広げよう」を設けて、学習した力を活用できるように工夫してある。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○単元のはじめに「めあて」が示してあったり、学習の流れが分かるように工夫してあったり、進んで学ぼうとする意欲をかき立てるように工夫している。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○入門期の教材には、子供たちが親しみやすい動物が描かれていて、内言で想像できるように工夫している。</p> <p>○上巻、下巻ともに読書単元を設け、継続的な読書活動を促している。</p> <p><国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫></p> <p>○伝統的な言語文化を養う単元では、「やってみよう」というコーナーを設け、声に出して読んだり、現代語訳を付けて比較したりできるように工夫している。</p>
	資 料	<p>○巻末には、補助作品として物語文と説明文を掲載している。</p> <p>○「読むこと」の教材では、関連資料として実際の点字を掲載している。</p> <p>○図書の紹介では、案内文と表紙写真を載せている。</p>
	表記・表現	<p>○2年の上巻途中までは、文節で区切った分かち書きとしている。</p>
総 括	<p>○学び方を学ぶ教材や言葉に関するページを設け、基礎的・基本的な学習内容の習得を図るように構成している。</p> <p>○巻末の資料編に、「じゅ業でつかう言葉」や「国語のカギ」をまとめて示すとともに、保護者向けのページを設けて、学校と家庭の連携を意識した内容となっている。</p>	

項目	書名 小学生の国語 15 三省堂
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○各学年の内容に示された指導事項・言語内容が、もれなく授業で扱えるように教材を選定、制作している。</p> <p>○「伝え合う力」を育てるために、「話すこと・聞くこと」では、話し合いや説明・報告を中心的な教材とし、計画的・系統的に学習できるようにしている。</p>
特色 内容 資料 表記・表現	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○2年以上の中心的題材に、「覚えておきましょう」という欄を設け、基礎的・基本的な言語事項の定着を図るようにしている。</p> <p>○資料集「学びを広げる」は、基礎的・基本的な学習内容が凝縮されていて、活用しやすいように工夫している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○言葉だけでなく、絵・写真・図などを読む活動に取り入れた教材があり、言葉を選んだり、表現したりできるように工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○3年以上の「話すこと・聞くこと」の中心的教材では、学習の流れをフローチャートで示し、見通しをもち進んで学習できるようにしている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○入門期の教材は、「はる」を題材に、入学した喜びを感じさせる絵が描かれていて、想像を膨らませるように工夫している。</p> <p>○単元の終わりに「わたしの本だな」と題し、関連図書を紹介している。また、「あまんきみこの部屋」という作家のコラムを位置付けている。</p> <p><国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫></p> <p>○伝統的な言語文化を学ぶために、音読・暗唱を中心においた教材と関連した教材を設けている。また、資料集の「読書の森」で、古典に親しむ教材を載せている。</p> <p>○資料集「学びを広げる」は、2年生以上で別冊とし、各学年ごとに学習した知識や技能が確かめられるようにしている。</p> <p>○学習したことが自然と読書生活に結びつくように、教材と関連した本を紹介し、案内文と表紙写真を掲載している。</p> <p>○文字が読みやすく、2年の途中までは分かち書きとしている。</p>
総括	<p>○各単元のはじめに「新しい漢字を学ぼう」という欄を設け、熟語や例文とともに新出漢字を扱い、基礎的・基本的な知識の習得を図っている。</p> <p>○3年以上では、学んだ漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字の表が掲載してあり、文字の確実な定着を図る工夫がしてある。</p>

項目	書名 ひろがる言葉 小学国語	17 教出
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○各学年とも、上巻の早い時期に「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の日常化を図る教材を配置し、「伝え合う力」を高めるように構成している。</p> <p>○「文化」という単元で、昔話や俳句、古文などの教材を取り入れ、昔から受け継がれて生活に根付いている美しい日本の言葉や響きを味わわせるように工夫している。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○漢字学習では、短文作りやドリル形式、漢字の広場のコーナーを設け、漢字の確実な習得を図る工夫がしてある。</p> <p>○各単元に「ここが大事」コーナーを示し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る工夫が見られる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○単元の終わりに、「お話の続きを書く」活動や「物語のおもしろさを紹介しよう」という活動を取り入れ、想像力や表現力を身に付けるように構成している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○行数を減らすことで行間を広く取り、書き込みをしやすくしたり、「話す・聞く」の単元では「学習の進め方」が載せられたりして、主体的な学習を促す工夫が見られる。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○入門期の教材では、動物たちの楽しそうな様子が描かれるとともに、穴あきにすることで、ひとり言で想像しながら学習できるようにしている。</p> <p>○多数の読書作品が掲載されていたり、ポップ・帯紙作りの活動を紹介したりして、読書に対する関心・意欲を高める工夫をしている。</p> <p><国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫></p> <p>○季節や暮らしの言葉が載せられていて、日本独特の言語文化を味わえるように工夫している。</p>
	資 料	○全学年、二分冊とし、付録には補充作品として文学作品と説明文を載せている。
	表記・表現	○文節単位での改行や分かち書きなど理解しやすいように配慮している。
総 括	<p>○学習の目的や見通しをもって学べるとともに、振り返りや学習のポイントが示されていて、基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着を図る工夫がしてある。</p> <p>○様々な場面での言語活動を段階的に取り上げ、目的意識や相手意識を高める教材が掲載されている。</p>	

書名		38 光村
項目	国語六 創造	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○単元のねらいを明確にし、各領域において様々な言語活動を設定し、系統的・螺旋的な単元構成により「伝え合う力」の育成を図る工夫がしてある。</p> <p>○聞いて楽しむ「読み聞かせ」の教材文が掲載され、伝統的な言語文化に親しめるように工夫している。</p>	
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○単元名とリード文で、身に付けたい力と言語活動を明示したり、活動の過程に必要な知識にはコラムや虫眼鏡マークを付けたりして、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るように構成している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の単元には、「ふりかえろう・いかそう」や◆マークで、言語活動で身に付けた力を他教科でも生かすように工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「話すこと・聞くこと」や「書くこと」では、単元のはじめに「活動の流れ」を明示し、見通しをもって主体的に学習できるように工夫している。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○入門期は、巻頭詩とともにたくさんの子供たちが遊ぶ楽しそうな絵が描かれていて、国語に対する興味関心を高める工夫がしてある。</p> <p>○特設小単元「言葉」では、発達段階に応じて言語感覚を養うように工夫している。</p> <p><国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫></p> <p>○2年以上で年4回「季節の言葉」を配置し、季節感を味わわせながら伝統的な言語文化に親しめるように工夫している。</p>
	資 料	<p>○挿絵、写真、図などは、教材文の理解を助け、実際に触れることのできる点字資料が掲載されている。</p> <p>○冒頭資料「学習を見わたそう」では、領域別に教材を紹介し、「いつも気をつけよう」では既習事項のポイントを紹介している。</p>
	表 記 ・ 表 現	○分かち書きは2年上巻までで、1文節から2～3文節へと移行している。
総 括	<p>○基礎的・基本的事項の定着やコミュニケーション能力などを重視し、生きてはたらく国語の力が身に付く多様な言語活動を取り入れている。</p> <p>○興味関心をもって、意欲的に取り組める教材が掲載されている。</p>	